

平成 24 年度 事業報告書

社会福祉法人 ふらっと

～ はじめに ～

平成24年度は法人にとって10周年という筋目の年でした。

その年にビストロ庵タンドールという新しい事業を始めたことは、この法人の特徴を表すものの一つだったと感じます。

15年前に共同作業所を障がい者自らが中心となり立ち上げ、地域の中で「生きる」ことを願いながら活動して来ました。当事工賃向上等という言葉はまだあまり聞かれず、月数千円の工賃が当たり前の時代でした。

私たちは工賃を月2万円以上支払うということを掲げて活動を始めたのを昨日のように思い出します。

数年前から全国的に工賃向上への取り組みは活発になりましたが、平均工賃月額2万円は未だ達成出来ていません。振興センターの取り組みに期待されるところでもあります。

私たちは、障がい者の働く場をつくり、共に働き、共に生きることを実践して来ました。その実践が誰にでも見える形の一つとして一つ庵タンドールが出来たことは、地域に働く場の広がりを進めていくよいきっかけの一つとなっていると思います。

また、スサノオマジックのスポンサー活動もスポンサーとしてだけでなく、ホームゲームでの毎試合観戦、スポンサーゲーム開催等、繋がりを深めることで法人事業への好影響はもちろんですが、一緒に応援することで、自然な形で知り合うきっかけになっています。

ピー・ター・パンにおいても経済ウイークリー等に作品や取り組みが掲載されたりするなかで、知ってもらうきっかけになっています。

社会貢献活動として、Tシャツフェスティバルでの売上の一部を東北支援のため、共同募金に寄付も行いました。

これからも様々な「きっかけ」を活かしながら、障がい者が地域で生きる「きっかけ」をつくり出していけるように事業を進めていければと思います。

4月、障害者自立支援法に代わる「障害者総合支援法」また、国等が優先的に物品を障害者施設等に発注する「障害者優先調達推進法」が施行されました。

一方、経済の情勢を見ると、デフレ脱却のための金融緩和策などが講じられるなど、前政権とは施策の舵取りが大きく変わり、経済状況は刻々と変化しています。障がい者の就労を促し、障がい者を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりを願う私たちは、このような社会の流れをもち早く読み取り、その時々にあった事業に切り替え、または、先読みして新たな事業にチャレンジしていく必要があります。

もちろんそれが進めていける体制づくりもしなくてはなりません。

24年度においては充分には出来なかったことでもあります。

先行的に各事業において職員の増員を行っていますが、就労事業の売上拡大は出来たものの、利用者増員には必ずしも繋がらず、結果的に設立以来の赤字決算となりました。

25年度以降、障がい者の「働く」を支え、拡大させ、法人の安定経営をするためにも様々な形で利用者増員を軸に事業拡大を図らなければなりません。

24年度は、様々な課題が改めて浮き彫りになりました。一つ一つの課題を現場レベルでも議論し、改善策を検討、実行していけるようにしていきます。

理事長 新田 裕之

法人本部

1. 法人が実施する事業全体の総括として

平成 24 年度は法人役員改選に伴う新田理事長就任 1 年目の年であった。法人としての年間目標はすべて達成はできなかった。

- 1) 最大の課題であった庵タンドールは、スタッフの勤務の状況等実態に合わせた庵タンドール用の就業規則を作り、管理者とサービス管理者がそれぞれの役割を担ってもらうように対応策を検討した。「障害者の就労」が当初スムーズには進まなかったが、徐々にではあるが改善されてきている。
- 2) 理事長が「現場の管理者」のみならず、「統括管理者」も兼ねており、各現場では「理事長決裁」の手続き（稟議書による決裁を受ける）がおろそかになりがちであった。
- 3) 事業を一体的に進める為に「設置」された「統括会議」が開催できず、法人内部での検討課題や決定事項が全体共有しづらかった。法人本部事務員も各事業所の手がけた業務の内容をよくわからないまま事務処理業務をする形が目立った。「運営会議」「幹部会議」を廃止して設置した会議なので、改めて「事業統括会議」の必要性を感じる。
- 4) 法人にとって節目の年でもあり、記念行事（ピー・ター・パンの T フェスとの合同企画）が提案されていたが、記念イベントとしては結局できなかった。

事業計画をスタッフが理解し、それぞれが自分の果たすべき役割を自覚しながら事業を進める必要がある。次年度は、事業の計画段階は勿論、計画の進捗状況を統括会議等で折々にチェックする必要もある。

2. 次に法人本部の具体的な課題に対する取り組み結果について何点か記しておきたい。

- 1) 法人本部として取り組みたかった第 1 は、「法人の理念や方針が貫ける体制づくり」であったが、上記総括の通り課題の多い結果であった。
- 2) 「来文書、稟議、報告など「回覧」の電子文書化」も課題であった。ここでいう「電子文書化」のイメージが徹底していない事もあり、取り組みなかった。法人本部は理事長に対しては「急ぐもの」「重要と思われるもの」「新鮮な情報」についてはメールにして直送した。本当に「電子文書化」するのか、又それを全体化するのかは検討が必要である。
- 3) 「決裁・予算執行の流れ」の再構築についても上記総括に関連するが、理解の進んだ現場はスムーズになったと思われるが、事業所によっては不十分な所もあり全体化されていない。大きな行事を実施した後、事務的には個々単品の支払いは完了していても、行事全体の収支やその実績、効果などが「報告書」として理事長にまであがって来ない現状だった。
- 4) 「計画的な学習・教育研修」についても、法人として大きな課題であった。年末の「行政監査による指摘」にもなり、年度内に急遽担当者を 3 人決め、次年度に向けて計画を進める事となった。
- 5) 各種規程の整備

この課題については、緊急を要する事、将来を見据えて進める事とを分けて対応した。法人が持つ規程と実情が乖離している「就労継続支援 A 型事業所庵タンドール」への緊急対応

は本部職員で実施。庵タンドール事業の性質上、業務時間内での機械的対応では処理できない実情を踏まえ、社会保険労務士のお世話になり、就業規則と給与規定については先々を見据えた対応（規程の改正）が出来た。

- 6) 互助会の在り方については、互助会役員さんとの数度の検討を経て、「お茶会計」と「互助会会計」の明確な区分、行事の在り方についても各事業所が「個別で行うこと」と「全体で取り組み参加すること」との整理を試みた。全体行事（年3回）は互助会役員が年間を通して企画し、費用については法人が一部を予算化する事となった。

3. 健康診断

協会けんぽ加入者については、24年10月～25年3月に実施した。

国保加入者については、希望があり24年10月に生協病院にて健康診断を実施した。

また24年11月には希望者に対して、釜瀬嘱託医に出張インフルエンザ予防接種を実施して頂いた。

4. 理事会・評議員会は表の通り実施した。

開催日と参加人数	議 題
第30回評議員会 平成24年5月27日 ビストロ庵タンドール 評議員14名、監事0名	第1号議案 経過報告 第2号議案 平成23年度事業報告について 第3号議案 平成23年度決算報告について 第4号議案 平成23年度監査報告について 第5号議案 ビストロ庵タンドールの開設に伴う案件について 第6号議案 各種規程の見直しについて 第7号議案 その他
第38回理事会 平成24年5月27日 ビストロ庵タンドール 理事7名、監事0名	第1号議案 経過報告 第2号議案 平成23年度事業報告について 第3号議案 平成23年度決算報告について 第4号議案 平成23年度監査報告について 第5号議案 ビストロ庵タンドールの開設に伴う案件について 第6号議案 各種規程の見直しについて 第7号議案 その他
第31回評議員会 平成24年9月29日 ビストロ庵タンドール 評議員11名、監事0名	第1号議案 経過報告について 第2号議案 規定の一部改正について 第3号議案 ビストロ庵タンドールの現況について 第4号議案 ピー・ター・パン設立15年・社会福祉法人ふらっと設立10周年記念事業について 第5号議案 第1次補正予算について

	第 6 号議案 その他
第 39 回理事会 平成 24 年 9 月 29 日 ビストロ庵タンドール 理事 7 名、監事 0 名	第 1 号議案 経過報告について 第 2 号議案 規定の一部改正について 第 3 号議案 ビストロ庵タンドールの現況について 第 4 号議案 ピー・ター・パン設立 15 年・社会福祉法人ふらっと設立 10 周年記念事業について 第 5 号議案 第 1 次補正予算について 第 6 号議案 その他
第 32 回評議員会 平成 25 年 1 月 26 日 応援スタジオジョイ 評議員 16 名、監事 0 名	第 1 号議案 経過報告について 第 2 号議案 ビストロ庵タンドールの運営について 第 3 号議案 人事について 第 4 号議案 補正予算について 第 5 号議案 12 月 20 日 市の法人監査結果について 第 6 号議案 各種規程の整備について 第 7 号議案 その他
第 40 回理事会 平成 25 年 1 月 26 日 応援スタジオジョイ 理事 8 名、監事 0 名	第 1 号議案 経過報告について 第 2 号議案 ビストロ庵タンドールの運営について 第 3 号議案 人事について 第 4 号議案 補正予算について 第 5 号議案 12 月 20 日 市の法人監査結果について 第 6 号議案 各種規程の整備について 第 7 号議案 その他
第 33 回評議員会 平成 25 年 3 月 16 日 応援スタジオジョイ 評議員 13 名、監事 0 名	第 1 号議案 経過報告について 第 2 号議案 平成 25 年度事業計画について 第 3 号議案 組織体制（人事）について 第 4 号議案 平成 25 年度予算について 第 5 号議案 各種規程の整備について 第 6 号議案 その他
第 41 回理事会 平成 25 年 3 月 16 日 応援スタジオジョイ 理事 6 名、監事 0 名	第 1 号議案 経過報告について 第 2 号議案 平成 25 年度事業計画について 第 3 号議案 組織体制（人事）について 第 4 号議案 平成 25 年度予算について 第 5 号議案 各種規程の整備について 第 6 号議案 その他

5. 法人監査会は表の通り実施した。

日 時	監 事 名	報 告 書 か ら
平成24年5月19日(土) 応援スタジオジョイ	笠木 重人 宮本 立史	○ 新規事業のビストロ庵タンドールについては事業計画に未熟な箇所もあり、不安を感じる。法人の運営を厳しくしないよう、慎重に事業チェックしながら経営するように。 ○ 退職規程の厳正な運用をすべきである。 (退職願の徴収・保管、退職に伴う事務手続き書類のファイリング等) ○ 概ね、会計事務的には適正に処理されている。

6. 内部経理監査は表の通り実施した。

日 時	担 当 者	報 告 書 か ら
平成25年3月3日(日) 応援スタジオジョイ	松坂 秀治	○ 帳票等おおむね適正に処理されていた。 ○ 収入何の漏れ ○ 寄付金申込書の漏れがあった。 ○ 予定価格調書に税抜きの表示がなかった。

ピー・ター・パン

島根県の大規模基盤整備事業により、製本機やTシャツ印刷機等を導入し一年が経過した。機器の操作等、試行錯誤しながら対応してきた。利用者の中には環境の変化に戸惑う場面も見受けられたが、徐々に効率も考えながら対応できるようになってきている。

スサノオマジックとの関係が深まる中で、試合観戦はもちろん営業やイベント開催にも役立っており、様々な好影響をもたらしている。継続して力を入れて応援していきたい。

【利用者状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）】

利用者人数	雇 用 型	26 名
	非雇用型	4 名
	（うち施設外就労・施設外支援 4 名）	
	合 計	30 名
	最低賃金除外者	13 名

大規模基盤整備事業により機器整備をし、試行錯誤しながら稼働させてきているが、想定していた利用者の役割が思うように対応が出来ていない場面も見受けられる。

受注戦略としてクオリティーの高い製品を意識しているため、技術的体力的に足りない利用者の役割について課題も表面化してきている。利用年数の長い利用者が多く、仕事の質、量共に変化に戸惑う場面もある。

しかしながら、変化をきっかけにしてそれぞれが自分の役割や将来について考えるきっかけになってきている。

また、実習の受け入れや、外部関係機関での講師経験、担当デザインのメディア掲載等により、経験の蓄積、自信や責任感にも繋がってきている。

働き方、自分に出来る事、生活リズム等自ら考え、決定していく事が重要である。もちろんそれに対して職員がどのようなアプローチをしていくかも力量を問われる。

A型事業所として一般企業と変わらない品質を追及することにより、より高いレベルを目指し、誇りを持って働いていく人材育成も必要な事。また、今一度仕事の分担についても切り出しから考えて見なければならない。

高齢化、障害の重度化、対象障害者の拡大も無視できない課題である。

支援を受けながらも誇りを持って働いていける環境づくりを目指し、創意工夫する支援体制を強化する必要がある。

【生産活動】

売上目標・・・50,000,000 円

売上実績・・・46,362,870 円（23 年度…41,616,597 円）11.4%増

（売上目標内訳）

●印刷・・・30,000,000 円

●ウェアプリント＊UVプリント・・・20,000,000円

(売上実績内訳)

■印刷・・・・・・・・・・30,922,443円

■ウェアプリント＊UVプリント・・・14,610,073円

営業戦略報告

■今まで手薄だった県庁など行政機関への営業を積極的に行った結果、紙印刷に関しては前年の売り上げを上回れた。要因としては特定外注先（千鳥印刷）と密な関係を築く事により外注費を大幅に抑えることが可能となり他社との価格競争に勝てるようになった。また、千鳥印刷からも年間120万の仕事を受注できた。（小ロット印刷やウェアプリント。外注先変更で圧縮数百万増の効果が出た。

■H23年12月より『しまね故郷名刺』発売。H24年3月より【しまねっこ】の使用許可も取り、デザインと価格で他社との差別化を図った。県の掲示板へカタログ掲載と市役所全部局へPDFでのカタログ配信で行政への周知徹底を行い年間80万円を売り上げた。

■スサノオマジックオフィシャルスポンサーについて3年目。毎試合会場へ行き、チーム、他スポンサーとの交流を深めた。また昨年度は徹底的に質の高いデザインを意識しチームや他スポンサーへ提案していくことにより『スサノオのデザインはピー・ター・パン』を確立しつつある。チーム、関係スポンサー、ブースターなどからの年間受注額は4,000,000円を超える。

■ウェア用インクジェットプリンター2台の導入で、今までの転写製品より販売価格を下げる事ができ、短納期、デザイン性の向上を図れた。特に夏場のTシャツプリントやスサノオ似顔絵バッグなどに威力を発揮。原価を抑え利益率が向上した。また夏場の【クールビズ対策】としてワンプリント2,000円ポロシャツを提案し、県庁などはじめ行政機関から多くの注文を受けた。

売上目標には360万足りなかったが、製作/生産の現場・営業体制の状況を考えると上出来だと思われる。

現場としては、印刷物全般のデザイン力向上を図る事。単なる印刷屋ではなく、ハイクオリティータータルデザイン＝ピー・ター・パンを目指したい。（広告代理店のように企画提案から行えるように）そのためには、技術力向上、体制整備はもちろん、人材育成も必須である。

【各種会議】

毎月一回個別支援会議を行っている。グループワーク等も取り入れながら支援計画を見直している。障害特性を知る意味で内部研修として職業センターから講師を招き勉強会も行った。

また、毎週一回現場会議を行っている。共有すべき事項を確認している。

さらに、毎日全員で昼礼を行っている。

【施設外就労・施設外支援】

引き続き「頑固一徹塩ラーメン（出雲市）」、「心と体の相談センター」で取り組んでいる。

新たな就労支援の形として可能な取り組みは積極的に考えていきたい。

【第6回しまねTシャツフェスティバル】

場 所:カミアリーナ

日 時:平成24年12月8～9日

第6回しまねTシャツフェスティバルは、スサノオマジック公式戦と同時開催の機会に恵まれた。スポーツ、食、音楽等、あらゆる文化の融合により、障がい者・健常者、大人・子供等、様々な分野の枠を越え、繋がり合い、しまねを元気にしていく事を目指して法人の10周年という事もあり計画した。

「第6回しまねTシャツフェスティバル」の募集テーマは「大切なもの」とし、皆様からTシャツの原画を全国から365点の応募をいただいた。応募作品の原画が全てと、入選作品はTシャツにして展示した。またその場で作れるTシャツ販売や限定グッズ、地元クリエイターによる展示や体験コーナー、神楽やライブ、美味しいお菓子の販売や特製くりいみいミルクうどん、ふぐ汁等も販売した。

公式戦ハーフタイムでは、昨年度わっじょいプロジェクトとして取り組んだ、ロケットくれよんとよしととひうたと共に、「100人 de わっじょい。」を行った。子供から大人まで障害者も一緒に楽しく踊る事が出来た。

開催時期や場所が従来と異なった事、スサノオマジック等との交渉の進め方等、調整が難しかった事もあり十分に準備が出来なかった。

反省点として下記のような事が上がった。

- ・ 計画段階で滞り収集つかず、現場での段取りが難しかった
- ・ 全体的に皆が混乱していた
- ・ 各自、応募が来るための努力不足
- ・ 時期として冬は不適、寒すぎる
- ・ いつやるにしても通常業務との並行は限界
- ・ 連絡不足
- ・ スタート段階から方向性曖昧、スタッフの団結、盛り上がりには欠けた

【ネバーランド発行】

33号～34号を発行した。

課題として、仕事のひとつとして取り組んでいるが、制作スタッフの負担感や施設内、法人内での発行目的等認識が曖昧になって来ており、今後予算、内容等も考慮しながら、進めていく必要がある。

【防災避難訓練】

実施日：平成25年2月18日（月曜日）16:00～17:30

実施日：平成25年3月13日（水曜日）14:00～15:00

初回はDVDで災害防止への意識啓発を行った後、どのように消火、避難するかを職員で討議した。

2回目ではスタッフ全員で避難訓練を実施した。

【その他】

ひとまちファンド事業として「障がい者によるみんなのための障がい者アート展」を行った。普段の営業をしつつ、ランチや飲み物を飲みながら作品を観て頂いたり、アートについて語りあえた。DMでお知らせするなど、集客を行いお客様との会話やふれあいを通して、作品や障がい者への理解に繋がられた。

★具体的な実施状況

かいくんほのぼのワールド ～おいしいもの、やさしいもの見つけた！～

8月22日（水）～24日（金）ビストロ庵タンドール

出雲養護学校高等部1年 川上 開くん アート展

内容：・川上開くんアート展示 ・限定おいしいものランチ ・作品映像
・限定やさしいものグッズ展示販売 ・オリジナルクッキー販売

ビストロ庵タンドール

「誰もが優しい笑顔になれる場所」として、就労継続支援A型事業所とし、5月にオープンした。

障がい者も健常者も大人も子供も集まりやすく、障がい者が働いている姿を自然な形で目にする事もでき、行きたい場所としても選ばれるものとして1年目を挑戦してきた。

1年目ということで、比較対象がなく、職員も利用者も飲食業未経験者が多く、ひたすら「挑戦」の1年だった。

「フランス料理の店」「食事の店」という固定概念をお客様に持たれないよう、夜は居酒屋感覚で気軽に行ける店、地ビール・地酒も飲めて美味しい洋風居酒屋的なイメージを持ってもらえるよう、イベントも開催し客層を広げるようにしてきた。(下記)

利用者はオープン当初の3名から5名に増員、各々が出来る作業も確実に増え、見違えるほど自信を持って各作業に携わっており、お客様より高・好評価を頂いている。伊勢宮界隈の飲食業でも障がい者の雇用を考えられ始めた声を聞き、庵タンドールの利用者の方の実績は大きいと思われる。

今後は利用者をさらに増員し、浮き沈みの激しい飲食業界の中にあって、より確実なサービスとお店作りをしていく事が必要である。

<イベント等>

7・8月毎週木曜日／庵ナイト・カーニバル

ビュッフェ形式・飲み放題

参加者：約100名

9月23日／酒とキノコの会

玉櫻酒造、松江地ビール両蔵の蔵人さんのお話を聞きながら秋の味覚を楽しんでもらう。

参加者：約40名

10・11月木曜日／庵ナイト・プレミアムビュッフェ

ビュッフェ形式・飲み放題

参加者：約120名

10月28日／酌楽人の会

旭日酒造・玉櫻酒造・若林酒造・板倉酒造4蔵の蔵人さんのお話を聞きながら、冬の鍋コースのお披露目も兼ねる。

参加者：約50名

1月14日／Pリーグ（島根日本酒女子利き酒大会）松江大会

松江・安来の地酒の女子利き酒大会

参加者：18名、観覧者：約40名

3月24日／Pリーグ（島根日本酒女子利き酒大会）出雲大会

出雲の地酒の女子利き酒大会

参加者：18名、観覧者：約35名

3月24日／防災訓練（職員・利用者）

応援スタジオ ジョイ

応援スタジオジョイでは「相談支援事業所」「地域活動支援センター」の二事業及びピアサポート活動に取り組んだ。

相談従事者は、1名の専任専門員（役員兼）と非常勤専門員（兼務あり）の1.5名体制であった。地域活動支援センターでは、専任者（支援員）1名、兼務者1名ですすめた。

相談支援事業所 ジョイ

1. 相談支援の利用状況

相談数は延べ件数で3927件、月平均327件であった。

利用者傾向では、法人事業所以外の利用者が大勢を占め、いわゆる制度適用事案は少ない一方、日常生活の維持、再建（永年の障害による家族関係の歪みー重い介護負担と経済的、生活環境ー知的、機能障害の単身生活者、医療依存度の高い患者・障害者、神経難病者、頸椎損傷単身者、人格障害単身者など）の関わりが増加している。

これらの中でも、BPD（ボーダーラインパーソナリティディスオーダー境界型人格障害）、気分障害など目に見えない生活のしづらさを抱える利用者が増加している。これらの利用者は、生活の困難性と社会的コミュニケーションの難易度が高く、同時に、援助者の疲労感（援助関係の困難性）が強い。衝動性の亢進（怒りの感情コントロール困難、性抑制困難）など、刑法に触れ犯罪につながるケースを散見した。これらのケースでは、日常的に援助関係（電話、メール、対面でのやりとり）が必要な人達である。

広義の相談活動と解釈できる活動として、相談件数の概ね三分の一は、応援センターのソーシャルアクションといえる社会活動（他法人事業所などの運営や事業維持開発への関わりーきょうされん、だんだんネ、他のNPO、社会福祉法人、福祉行政など）事案である。

相談事案とカウントした一方で、活動実態は報告集約できておらず、明らかでない。法人執行部が経年的に担ってきた障害者福祉運動を作り支える活動として評価できる。一方で、法人なり組織的な関わりあいが見えづらく、活動を担う人材などと方向性が明らかでない。

松江地域の福祉環境を作り発展する重要な活動である。社会福祉ふらっと事業運営と地域福祉、社会福祉運動との整合性を明らかにしつつ、混乱、混同せぬよう早急な協議検討が必要である。

2. 協働した機関などの特徴

ホームヘルパー利用など事業所、医療機関、他の相談支援事業所との協働をすすめた。また、障害に起因する社会生活上の困難に関連する活動を「相談支援」と位置づけ、事業計画に位置づけた、①相談活動ジョイでの相談、電話・訪問、サポートステーション絆への相談員派遣（週1回）、②ピア・カウンセリングの障がい別登録、③相談員勉強会（医師・セラピ

スト・看護師・介護士・ケアマネージャーなど）をすすめた。計画相談を進めていく上で、法令の運用（障害者総合支援法と介護保険、生活保護法）のケースが増加している。

また、介護保険、生活保護法など生活援助サービスの併用事案が増加した。それらは、重症度の高い高齢障害者と介護保険２号被保険者（４０歳から６５歳までの特定疾患者）の有料老人ホーム（高齢者専用賃貸住宅、住宅型有料老人ホームなど）利用に相関している。介護保険給付限度単位を越えて生活介護を要する事案の増加である。

様相的には、医療機関の退院が、即刻一人暮らし困難などの事案、さらに生活困難者（稼働力の低下、家族の介護力低下など）の帰来先として有料老人ホームを選択しか方途がない事案を散見した。有料老人ホーム経営者から、当事者に対する生活保障、また、経営ポイントな自立支援法利用の相談をみた。

３．計画相談数（計画相談支援給付請求）

２０１２年は、利用者２１名（全体の１１％程度）の計画相談給付を請求し、給付額は概ね１００万円であった。全体の相談件数が増加しているのに対して、給付請求ケースが少ない。この点は、請求事案は自立支援法の制度（居宅支援－訪問介護などのサービス利用）利用が前提で請求が発生するため、一般相談（生活再建、障害年金請求、傾聴的面接、社会生活上の諸活動）を反映していない制度的な矛盾である。

【資 料】

年間対応数	3927件		
平均年齢	49歳		
継続ケース	99%	（終結は死亡のみ）	
実ケース数	187件		
月平均	327件		
方法件数	訪問	976	（21%）
	来所相談	923	（20%）
	同行	439	（9%）
	電話相談	1706	（37%）
	メール文書	320	（7%）
	支援会議	35	（1%）
	関係機関	70	（2%）
	その他	179	（4%）
	重複総数	4648	（100%）

相談件数の推移

2011 年度	件 数
2011 年 4 月	282 件
5 月	245 件
6 月	235 件
7 月	417 件
8 月	309 件
9 月	331 件
10 月	296 件
11 月	292 件
12 月	223 件
2012 年 1 月	235 件
2 月	314 件
3 月	331 件
合計件数	3,492 件

2012 年度	件 数
2012 年 4 月	325 件
5 月	321 件
6 月	359 件
7 月	356 件
8 月	322 件
9 月	256 件
10 月	515 件
11 月	304 件
12 月	261 件
2013 年 1 月	300 件
2 月	296 件
3 月	312 件
合計件数	3,927 件 (435 件増)

地域活動支援センター ジョイ

主な活動として、パソコン教室、手芸活動、ADL体操を設定し取り組んだ。

パソコン教室は2名でスタートしたが、10月から1名週1回実施した。

A D L体操は定例開催（毎週木曜日午後）4年を経過し定着した。作業療法士など専門家の支援を受け、活動参加者が生活の中に「体操」を位置づける事ができている。参加者を中心に、週1回の手芸活動（手芸サークル）に繋がった。

今後の課題として、利用者の増加を図るため、活動内容の検討、新たな活動内容の設定・支援員配置が望まれる。

以下に実績報告書を添付した。

1 月別実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	21	21	21	20	19	22	21	19	18	19	20	241 日
初日在籍通所者数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288 人
延通所者数	104	115	109	114	62	109	120	115	79	87	103	99	1,216 人
										実通所者数 (b/a)			5 人

2 通所者の状況

No.	性別	年齢	障害種別			年間通所日数	工賃支給総額	No.	性別	年齢	障害種別			年間通所日数	工賃支給総額
			知的	身体	精神						知的	身体	精神		
1	男	65		1級		179 日	円	14	男	47		2級		34 日	円
2	女	67		1級		237 日	円	15	女	69	A			31 日	円
3	男	63			2級	134 日	円	16	男	47	B			28 日	円
4	男	67		1級		13 日	円	17	女	70		2級		48 日	円
5	女	67		2級		21 日	円	18	女	76		4級		34 日	円
6	男	74		2級		22 日	円	19	女	78		3級		28 日	円
7	女	62		1級		26 日	円	20	女	65		3級		35 日	円
8	男	71		4級		22 日	円	21	男	75		2級		30 日	円
9	男	54		1級		26 日	円	22	女	67		4級		46 日	円
10	男	67		1級		27 日	円	23	男	51		1級		4 日	円
11	女	60		1級		23 日	円	24	女	53	B			59 日	円
12	女	65		2級		28 日	円	25	女	27		1級		49 日	円
13	男	74		2級		32 日	円							日	円

3 職員の状況

職 種	氏 名	年齢	専任・兼務の別	年間勤務日数	勤務期間	職務内容等
管理者	安達 通男	63	専任 ・ 兼務	232 日	24 年 4 月～25 年 3 月	管理者
	渡部 勉	50	専任 ・ 兼務	240 日	24 年 4 月～25 年 3 月	支援員 事務

4 事業実績状況

サービスの内容	実 績
・ パソコン教室 ・ 趣味・娯楽の活動 ・ 調理、食事会の企画 ・ 研修会、学習会の企画 ・ その他（ニーズに応じて）	・ パソコン教室の実施 ・ 健康体操の実施（ADL 体操） ・ 手芸活動

島根県障がい者就労事業振興センター

平成24年度「島根県障がい者就労事業振興センター」は引き続きセミナー事業を行いつつ、就労支援事業所間の連携・協働、事業所と企業・行政・他産業との連携をコーディネートすると共に、就労支援事業所の営業能力を高めるためのアドバイスをを行い、障がい者の工賃向上を実現するために以下の事業を行った。

1. 就労支援事業所の販路拡大

(1) 共同商品・共通ブランドの開発

いくつかの共同受注、共同の取り組みが始まっている。トマト栽培、EMぼかし等複数事業所で行う取り組みを支援すると共に、企業との取り組みも始まっている。継続支援する事で安定した取り組みにしていく。

(2) バザー等の共同販売イベントの開催

振興センターとして販売イベントを鳥取の振興センター、NPO等と連携し行った。

バザーに関しては、集客力のある場所での開催を望まれている。今後も参加事業所と共に、イベント企画から行って行き、体験の場としても活かしていきたい。

また、定期的な販売機会の開拓として、ふくふくショップやご縁市開催、企業内販売支援等も行った。

バザー

ハートフルバザー	授産センターよつば	11,430
	櫻 苑	91,120
	希望の園	65,950
	クトワークス	11,000
	山光園	45,800
	センターはばたき	16,950
	さくらんぼの家	24,590
	さくらの家	36,260
	にじの家	26,520
	ひだまり	50,550
	みずうみの里	18,600
	ワークハウス「しののめ」	29,700
	合計	428,470
ハートフルフェア in 日吉津	授産センターよつば	4,750
	ひだまり	16,000
	だんだんネ！	11,340
	ピー・ター・パン	26,985
	合計	59,075

総合計;487,545

ハートフルバザー（一畑百貨店）



ハートフルフェア in 日吉津



イベント販売

イベント名	事業所名	金額
キラ多伎・GWバザー	なかよし	21,700
	福祉ネットワークにじ	31,340
	ふたば	131,950
	合計	184,990
ご縁市（6/3）	ワークハウス「しののめ」	4,420
	センターはばたき	3,970
	さくらの家	3,210
	まるべりー松江	15,210
	合計	26,810
全国情緒障害教育研究協議会 島根大会	希望の園	14,500
	なかよし	12,300
	あそび	30,450
	バックしまね	3,450
	かも社会就労センター	6,400
	けやきの郷	12,760
	光風園	12,360
	合計	193,500
第37回身体障害者療護施設 職員研修大会	ひだまり	14,600
	ピーターパン	13,120
	飾彩房	9,300
	櫻苑	35,960
	さざんか	28,300
	合計	193,500
第37回身体障害者療護施設 職員研修大会	なかよし	19,000
	川本ワークス	7,640
	飾彩房	8,500
	かも社会就労センター	2,750

	ひだまり	20,700
	希望の園	1,800
	櫻苑	29,970
	わこう苑	4,700
	合計	95,060
縁結びラブソングコンテスト	L.C.C ウイング	48,200
	授産センターよつば	7,800
	なかよし	19,500
	しののめ	3,850
	わこう苑	22,720
	だんだんネ	10,130
	ひだまり	17,500
	櫻苑	41,600
	合計	171,300

総合計;671,660

キララ多伎



イベント案内

ご縁市（松江）

7回

福祉共同市場

6 事業所参加

販売

ふくふくショップ（大社）	なかよし	11,600
	ふたば	26,900
	太陽の里	102,050
	ぽんぽん船	51,600
	合計	192,150
イーウェル	櫻苑	500,000
	まるべりー松江	85,695
	希望の園	125,770
	合計	782,405

総合計;974,555

ふくふくショップ



(3) 企業との商談会、受注調整

内職の需要があり、複数の事業所へ引き続き紹介している。

企業とのマッチングはウエルネスのハートフルコーナーが開始された。商談会を行って商品選定を行って開始しているが、今後さらに発展させていくために定期的な商談やイベントの開催も行っていき、意見交換会等も企画し、品質を向上させ、信頼関係を築いていく必要がある。

また、ハッピーエコプラザ事業をグッディの協力で開始している。リサイクル品の回収事業であるが、今後の展開として商品の取引等にも繋げていきたい。

販売・受注実績

内職

発注元	事業所名	金額
丸京製菓	梨の木園	101,679
	チューリップの里	12,480
	ぎば工房ひろせ	31,335
	ワークハウス「しののめ」	29,991
	合計	175,485

発注元	事業所名	金額
(株)河内	ほたるハウス	270,591
	なかよし	97,524
	ふたば	63,598
	まるべりー斐川	55,456
	やまびこ園	81,970
	美野園	33,095
	エルパティオ三葉園	161,373
	山光園	42,198
	合計	763,607

総合計;939,092

ウェルネス共同受注販売

11月	214,310
12月	360,016
1月	224,302
2月	246,938
3月	218,350
合計	1,263,916



商談会

6月22日 ウェルネス 商品選定会 参加事業所；22事業所



受注幹旋

しまね農業振興公社	ピー・ター・パン	592,200
	まつえ友愛会	509,250
	合 計	1,101,450

「はっぴいえコプラザ」リサイクル品収集実績

医大通り店

みずうみ	なかよし	ふたば
19,261	19,261	12,736

(10月～3月)

木次店

しゃぼん玉	ふれんど	きすきの里
6,780	10,165	10,165

(3月)

総合計;78,368

グッディー医大通店



(4) 官公需獲得への営業活動、受注調整

官公需、共同受注窓口については優先発注調達法の施行される事もあり期待されている。振興センターとしては各事業所の詳しい情報をデータベース化し、情報提供や具体的営業に繋げていきたいと考えている。

また、銀行の企業マッチングサービスも活用し、受注に繋げていきたい。

その際、共同窓口業務については必要ではあるが、各事業所の理解、努力も得ながら仕組みづくりを急ぎたい。

(5) その他

今年度はじめて先進地視察を行った。リアルな情報提供ができると共に、新しい取り組みに対して各事業所がイメージする事ができたと思っている。

また、中国地方の各振興センターが一同に情報交換を開始した。今後イベント等で共同開催も考えていきたい。

会議・研修・視察

視察

実施日	視察先	備考
7月17日	株式会社キョーエイ松茂店	はっぴいエコプラザ
8月29日	株式会社キョーエイ川内店	はっぴいエコプラザ 先進地視察7事業所（8名）参加
9月19日	株式会社キョーエイ川内店	はっぴいエコプラザ
11月24日	ひろしま S-1 サミット 2012	

はっぴいエコプラザ



先進地視察



ひろしま S-1 サミット 2012



会議

会議名	主催者	備考
出雲市障がい者就労系事業所連絡会	出雲市社会福祉協議会	
障害者就業・生活支援センター事業連絡会議	リーフ	2 回
農福連携連絡会議	しまね農業振興公社	5 回 (松江、出雲、雲南、県央、浜田)
障害者優先調達法に係る情報交換会	広島県就労振興センター	中国 5 県・振興センター

2. 人材育成

今年度、ゆめいくワークサポート事業の助成も活用し、「福祉事業所ための Facebook 活用セミナー」等、実践セミナーを開催した。延べ 240 人程度の参加があった。

マネージメントゲームを活用した役職員研修会等、役員向けトップセミナーも新たに企画した。より参加しやすい形を考慮しつつ、継続して進めていく。

<研修・セミナー実施状況>

開催日	セミナー名	人数	場 所	
7 月 26 日	福祉事業所ための Facebook 活用セミナー	7	浜田	いわみーる
8 月 2 日	福祉事業所ための Facebook 活用セミナー	10	松江	ろうかん
9 月 4 日	食品衛生管理と食品表示セミナー	10	大田	あすてらす
9 月 13 日	食品衛生管理と食品表示セミナー	4	松江	いきいきプラザ島根
9 月 13 日	心に残るチラシの描き方セミナー	5	松江	いきいきプラザ島根
9 月 20 日	心に残るチラシの描き方セミナー	5	浜田	島根県浜田合同庁舎
9 月 27 日	心に残るチラシの描き方セミナー	8	出雲	島根県出雲合同庁舎
10 月 2 日	事業計画の立て方 (1)	6	出雲	島根県出雲合同庁舎
10 月 5 日	プロに学ぶ売れるパッケージとは??	4	浜田	島根県浜田合同庁舎

10月9日	事業計画の立て方（１）	7	松江	いきいきプラザ島根
10月16日	事業計画の立て方（１）	5	浜田	島根県浜田合同庁舎
10月25日	プロに学ぶ売れるパッケージとは？？	10	松江	いきいきプラザ島根
11月1日	事業計画の立て方（２）	4	出雲	島根県出雲合同庁舎
11月8日	事業計画の立て方（２）	5	松江	いきいきプラザ島根
11月12日	Facebook ページ活用講座	4	松江	ろうかん
11月15日	事業計画の立て方（２）	5	浜田	島根県浜田合同庁舎
11月22日	Facebook ページ活用講座	1	浜田	いわみーる
11月26日	大切な製品を魅力的にラッピング！	3	松江	いきいきプラザ島根
11月28日	旬の食材を活かした新しいメニューを開発しよう！（冬編）	4	松江	いきいきプラザ島根
12月5日	大切な製品を魅力的にラッピング！	4	大田	あすてらす
1月21日	やさしいマナーの講習会	18	浜田	いわみーる
1月29日	デジタルカメラ講習	8	松江	いきいきプラザ島根
1月30日	やさしいマナーの講習会	40	松江	いきいきプラザ島根
2月6日	デジタルカメラ講習	4	浜田	いわみーる
2月12日	デジタルカメラ講習	7	松江	いきいきプラザ島根
2月13日	旬の食材を活かした新しいメニューを開発しよう！（春編）	2	松江	いきいきプラザ島根
2月20日	デジタルカメラ講習	3	浜田	いわみーる
2月21日	マネージメントゲームを活用した役職員研修会	8	出雲	出雲国際交流会館
2月22日				
3月25日	「NPO 法人みどりの家石谷理事長」講演会	16	出雲	ニューウェルシティ出雲

フェイスブック



パッケージ



ラッピング



調理



事業計画の立て方



食品衛生



3. 専門家派遣

非常に好評で、単にコンサルタントの派遣にせず行っており、事業所ニーズ合わせた形の派遣を心がけている。利用者を交えた形での指導もあり、増加傾向にある。

<専門家派遣状況>



4. アドバイザー設置による相談業務

島根県障がい者就労事業振興協議会員事業所を中心に訪問を行った。

各事業所の特性や課題、現状の商品・製品などを見聞きし、事業所が抱えている問題点・課題等を整理した上で専門家派遣などに繋げている。

訪問・相談状況

福祉事業所

事業所名	回数	事業所名	回数	事業所名	回数
ほたるハウス	9	ワークハウス「しののめ」	14	松江さくら会	1
川本ワークス	5	ふきのとう	2	けやきの郷	1
さくらんぼ	3	太陽の里	18	だんだんネ	23
ネットワークにじ	1	江友	16	なかよし	13
あゆみの里	2	やまびこ園	6	ぼんぼん船	22
フロンティー	3	ふれあい工房ふれんど	3	まるべりー斐川	2
みずうみの里	3	庵タンドール	3	晴雲の里	1
梨の木園	11	エルパティオ三葉園	19	ワークセンターふれんど	1
飾彩房	4	パック島根・川津事業所	2	パック島根・学園事業所	1
ハートボックス	1	ひだまり	12	亀の子工房	2
ラヴィアンローズ	3	光風園	2	ワークアみずうみ	7
ぎば工房ひろせ	9	チューリップの里	5	プロジェクトゆうあい	8
四ツ葉園	1	センターはばたき	5	櫻苑	3
ショップ みけねこ	1	さくらの家（松江）	9	フィリア	4
ひまわり	8	まるべりー松江	4	L.C.C ういんぐ	1
みんなの作業所	4	ふたば	6	はとぼつぽ	3
あすのひかり	2	邑智園	4	ふぁっと	1
さくらんぼの家	2	きすきの里	2	ぼてとほうす	2
しゃぼん玉工房	5	希望の園	12	美野園	7
斐川あしたの丘	3	だんだん工房	2	若草園	4
こだま	2	さざんか	1	ピーターパン	2
授産センターよつば	4	五輪福祉会	1	愛香園	1
さくらんぼの家	1	山光園	1		
<鳥取>					
ゆめ工房21	2	福祉の店 浜っ子	2	まつぼっくり	2

一般事業所

事業所名	回数	事業所名	回数	事業所名	回数
多伎振興	3	須田商店	1	イーウェル	19
大木製菓	3	大根島ローズランド	6	(株)河内	13
イオン松江店	1	ゆめタウン出雲店	1	ウェルネス湖北	27
(株)ウシオ	15	(株)キョーエイ	3	福屋	4
平岡産業	5	アプライイズ	1	大芦マリショップ	1
エンタメネット山陰	1	環境サービス	1	サンコーフーズ	1
太閤堂	1	一畑百貨店	5	さんあーる出雲	5
山陰合同銀行	3	イオン日吉津	2	銀の皿	4
松江フォーゲルパーク	1	石原造園	2	トヨタ園芸	4
島根県遊技業協同組合	1	カンドファーム	1		

団体・行政

団体名	回数	団体名	回数	団体名	回数
松江市障がい者福祉課	26	雲南市長寿障がい福祉課	8	島根県農業技術センター	1
松江市観光課	2	しまね農業振興公社	7	平田学校給食センター	1
松江市環境保全課	1	東部農林振興センター	2	ぶらす	3
広瀬小学校	2	鳥取県障害者就労事業振興センター	13	島根県看護協会	1
古志原小学校	3	出雲市社会福祉協議会	7	テクノアークしまね	2
出雲農林高校	1	ハローワーク松江	1		